

コンクリート診断士会

初全国会議 福井で開催

連携強化し課題解決へ

全国にあるコンクリート診断士会の初の全国会議は二十八日、福井市の福井厚生年金会館で開かれた。共通する課題解決に向け、連携を強化し取り組んでいくことなどを確認した。

コンクリート診断士会は本県で全国に先駆けて



6都県のコンクリート診断士会の会員が情報交換した全国会議—28日、福井厚生年金会館

発足、現在は全国九都県に設置されている。全国組織はないが、会議を通して診断士の認知度や地位の向上、各地で抱える課題を協議し、今後の発展につなげていく狙い。

六都県から十七人が参加。活動状況や地域ごとに抱える課題が報告された。

各診断士会ともコンクリート診断士の認知度は徐々にアップしているが、さらに上を目指して取り組む必要があるとの認識で一致。また、診断士会に診断依頼が直接きた場合の会員への公平な仲介方法が課題として挙げられ、質問などが相次いだ。